

なにわっ子 わくわく未来プログラム



「なにわっ子 わくわく未来プログラム」とは・・・

乳幼児期のすこやかな育ちが、その後の成長の大切な基盤となることを踏まえ、大阪で生まれ育つすべてのこどもたちが、就学する前に「生きる力の基礎」をはぐくむための視点と方法について、とりまとめたものです。

大阪府 大阪市

「生きる力の基礎」になる『5つの力』をはぐくもう！

『5つの力とは？』

子どもたちが、毎日を「わくわく！」と楽しむ中で、身に付けてほしい、「未来」に向かってはばたいていくための力です。

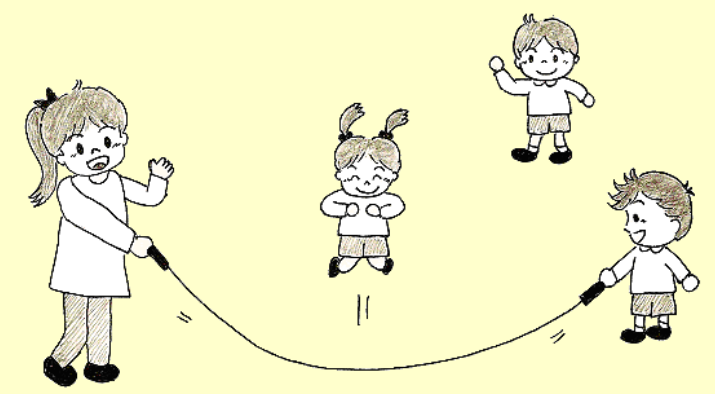
- ・養育者との愛着形成
- ・基本的な生活習慣の育成
- ・自我の芽生えと社会性の芽生え
- ・外の世界への積極性と学びへの意欲
- ・自分も他人も大切にできる心

わたし大好き！ みんな大好き！（自分も他人も大切にできる心）

子どもは、自分が大切にされていると確信できることで、自分を前向きにとらえ、自信を持つ「自己肯定感」を感じるとともに、大切な自分と同じように、他人も一人ひとりが大切であることに気が付きます。自分も他人も大切にできる心が育つと、子どもの心身の成長により影響をもたらします。

<かかわり方の具体例>

- ・家庭などでのお手伝いを大人と一緒にしましょう。（お手伝いの後は、たくさん「ありがとう」の言葉をかけましょう。）



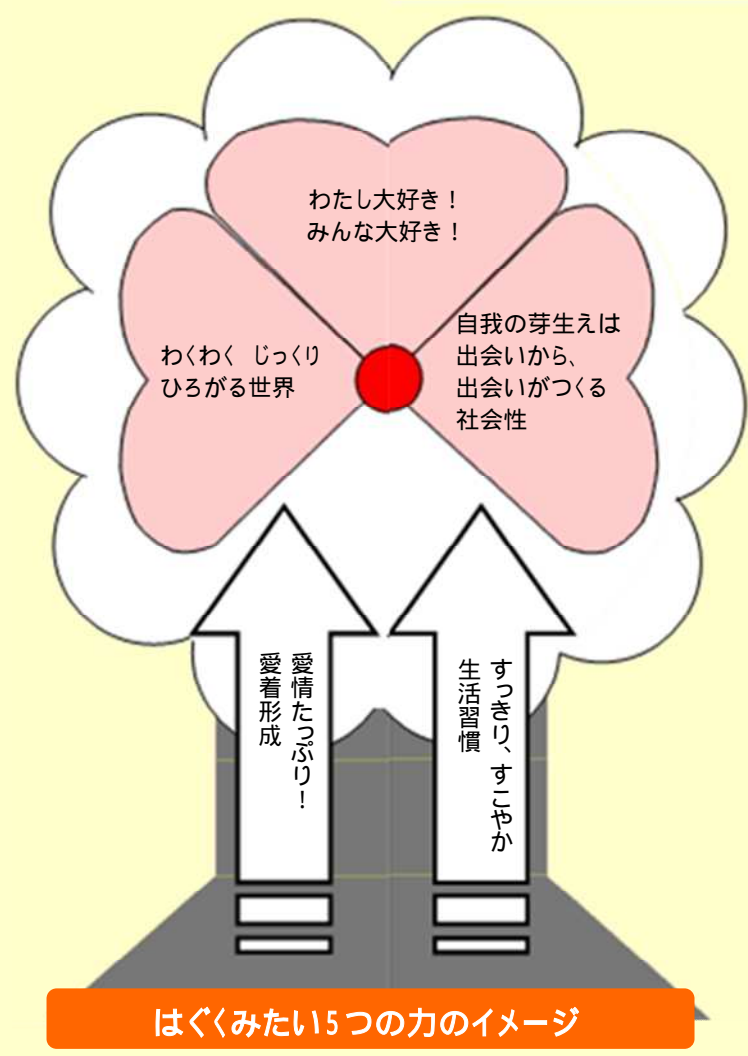
わくわく じっくり ひろがる世界（外の世界への積極性と学びへの意欲）

子どもは、手や足など体を使ったさまざまな体験を積み重ねることで、豊かな感性とともに好奇心や探究心、思考力を身につけます。

いろいろな遊びや生活を心ゆくまで楽しみ、新しいことを身につけていく満足感や達成感を味わうことで、自分を広げていきます。

<かかわり方の具体例>

- ・子どものさまざまな行動（見る、聞く、さわる）を見守り、動きに合わせて声をかけましょう。



自我の芽生えは出会いから、出会いがつくる社会性（自我の芽生えと社会性の芽生え）

子どもは、周囲の環境とかかわる中で、自分の存在に気が付きます。やがて欲求や意志を主張し始める自我が芽生え、そして、他人と出会い交わる中で社会性が芽生えます。自我と社会性の芽生えにより、自分の行動を律していく土台が作られます。

<かかわり方の具体例>

- ・子どもが1歳ごろになったら、保護者と1対1の関係から、他の子どもとかかわる機会を増やしていきましょう。



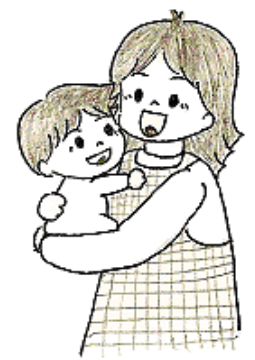
愛情たっぷり！ 愛着形成（養育者との愛着形成）

愛着は、保護者との間に生まれる心の絆（きずな）です。身近な人たちの愛情を感じることで育つ情緒の安定と基本的信頼感が、「生きる力」の基礎になります。

愛着は、その後の自我、意欲、社会性など、心の成長・発達のお土台となっていきます。

<かかわり方の具体例>

- ・日々の生活の中で、子どもと視線を合わせる、微笑みかける、語りかける、を意識してみましょう。

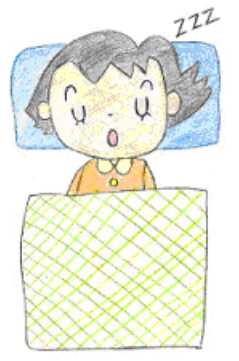


すっきり、すこやか 生活習慣（基本的な生活習慣の育成）

基本的な生活習慣は、愛情に支えられた安全な環境のもと、規則正しく生活することで身につきます。子どもの生活リズムは、家族の生活リズムに影響されます。家族の状況に応じて、子どもの育ちにとって必要なことを大切にしながら、生活リズムを整えていきましょう。

<かかわり方の具体例>

- ・心と体を眠りへのモードに切り替えるため、夜寝る前に子どもと一緒にすることを決めましょう。



この内側に「生きる力の基礎」をはぐくむための具体的プログラムの一部を紹介しています。

「生きる力の基礎」になる5つの力は、一つひとつが別々に完結しているのではなく、お互いに関連し合って、影響を与え合いながらはぐくまれていくものです。その際、5つの力の中でも特に基本的な側面が強い「養育者との愛着形成」と「基本的な生活習慣の育成」は、「生きる力の基礎」をはぐくむための土台となり、この土台の上に、続く3つの力が大きく育っていきます。

これらの5つの力を、子ども一人ひとりの発達のみちすじに沿ってバランスよくはぐくむことにより、小学生以降に継続していく、総合的な「生きる力」の礎（いしずえ）となります。